

# 平成16年度資源管理体制・機能強化総合対策事業 (資源管理に必要な情報の提供) 浅海定線調査 (陸奥湾) (要 約)

今井 美代子・三津谷 正・平澤 厚子  
試験船なつどまり (山田雅治・長津 司・高木広美・中村義美・吹越弘光)

この調査は、陸奥湾の海況の特徴や経年変動などを把握し、海況予報のための基礎資料を得ることを目的として実施しているものである。本年度は、継続33年目の調査年次であった。

## 調 査 方 法

- 1 調査船 なつどまり (青森県水産総合研究センター増養殖研究所試験船、24トン、770ps、16.5ノット)
- 2 調査点 湾内St.1～6の6定点、湾口部St. A, Bの2定点、計8定点。(図1)
- 3 調査方法及び項目

調査方法は、平成16年度「資源評価調査事業」沖合海域海洋観測及び資源管理体制強化実施推進事業に関わる海洋観測調査指針 (東北ブロック関係) (平成16年4月、独立行政法人水産総合研究センター東北水産研究所) に準拠した。

調査項目は以下のとおり。

- ① 気象、海象  
天気、雲量、気温、気圧、風向、風速、波浪
- ② 水色、透明度
- ③ 水温、塩分  
0 m、5 m、10m以深は底層 (底上2 m) まで  
10m間隔
- ④ 溶存酸素  
St.1～6の20m層、底層及びSt.2と4の5 m層

- 4 調査回数  
毎月1回 (1月から12月の計12回)

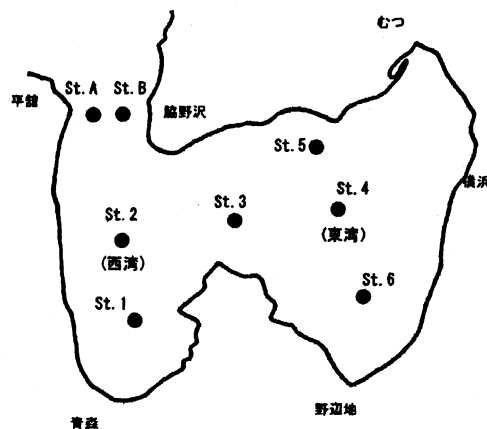


図1 調査点

## 調 査 結 果

本調査結果からみた、平成16年における陸奥湾の海況特徴を以下に示す。

なお、平年比の階級表現に用いている平年値は1972～2003年の過去観測値の平均値である。

## 平成16年の海況の特徴

- 1 透明度の最低値はSt. 1の6月の7.0mで、最高値はSt. Aの2月の25.0mであった。
- 2 水温の最低値は、0m層では湾口部のSt. A, Bで4月に、そのほかのSt. 1～6で3月に、20m層ではSt. Aで4月に、St. Bで2月に、St. 1～6で3月に、底層ではSt. Aで4月に、St. B, 1で2月に、St. 2～6で3月に、それぞれみられた。

湾全体の年間最低水温は、0m層はSt. 4, 5の3月の3.90℃、20m層はSt. 6の3月の3.32℃、底層はSt. 5の3月の3.41℃であった。

水温の最高値は、0m層では8月に、20m層では8, 9月に、底層では9月にみられた。

湾全体の年間最高水温は、0m層ではSt. 4, 6の8月の26.30℃、20m層ではSt. Bの8月の23.21℃、底層ではSt. 6の9月の21.48℃であった。

水温の年間の推移は、平年に比べ、1月は概ね平年並み、2, 3月は平年並み～やや低め、4, 5月は概ね平年並み、6月は平年並み～やや低め、7月は平年並み～やや高め、8月は10m層以浅でやや高め～かなり高め、20m層以深で平年並み～やや高め、9月は30m層以浅で概ね平年並み、これより下層でやや高め、10月は概ね平年並みであったと推測される(10月の概況に示したとおり、観測が月末になったため、見かけ上半年より低めとなったと考えられる)、11月はやや高め～かなり高め、12月はやや高めであった。

3塩分の年間の最低値は、0m層ではSt. 6の6月の32.21、20m層ではSt. 6の6月の32.42、底層ではSt. 6の4月の32.91であった。年間の最高値は、0m層ではSt. Aの7月の33.92、20m層ではSt. Aの7月の34.02、底層ではSt. Bの9月の34.27であった。塩分の年間の推移は、平年に比べ、1月は概ね平年並み、2月はやや低め、3月はやや低め～かなり低め、4月は概ね湾の上層でやや低め、下層でかなり低め、5月は上層でやや低め～かなり低め、下層で概ね平年並み、6月はやや低め～かなり低め、7月は平年並み～かなり低め、8月は20m層以浅でやや低め～かなり低め、30m層以深で平年並み～やや低め、9, 10, 11月は概ね平年並み、12月は平年並みであった。

4溶存酸素量は、20m層では、St. 1のみ4月にそのほかの調査地点では3月に、底層ではSt. 2のみ4月に、そのほかは2月または3月に年間最高となった。この後は低下傾向が続き、20m層では7～10月に、底層では8～11月に年間最低となった。20m層の最低値はSt. 1の10月の7.38mg/L(飽和度94.6%)、底層の最低値はSt. 5の9月の5.88mg/L(飽和度79.0%)で、底層でもSt. 5の9月のみ6mg/L未満となっていることから、水産用水基準記載の「底層生物の生息のために最低限維持しなければならない底層の溶存酸素量4.3mg/L」を充分満たしており、2004年は陸奥湾では、貧酸素状態はみられなかった。